

会議録

会 議 名	令和4年度 第3回 目黒区廃棄物減量等推進審議会
日 時	令和5年1月27日(金) 午前10時～午前11時15分
会 場	目黒区総合庁舎1階E会議室
出 席 委 員 (敬称略)	安井、平尾、鈴木、松嶋、かいでん、原、森銅、坂本、市毛、斎藤、日比野、大西、杉本(計13名)
区 側 職 員	橋本環境清掃部長、神清掃リサイクル課長、金元環境保全課長、細野清掃事務所長
傍 聴 者	無
配 付 資 料	<p>廃棄物減量等推進審議会委員名簿</p> <p>資料1 【案】目黒区一般廃棄物処理基本計画の改定に向けた基本的方向について(答申)</p> <p>資料2 2100年を視野に入れた快適で誇りのもてる循環型のまち～目黒区への提言～(答申案)</p> <p>資料3 廃棄物処理手数料等の改定について</p>
会 議 次 第	<p>1 開 会</p> <p>20名中、出席者は13名であり、半数以上の出席があるため定足数を満たしており、会は成立する。</p> <p>2 議 事</p> <p><審議事項></p> <p>(1) 目黒区一般廃棄物処理基本計画の改定に向けた基本的方向に係る答申(案)について</p> <p>○区 (資料2により、審議会委員から寄せられた意見の反映や修正箇所等を説明)</p> <p>○委員 災害廃棄物の処理について、訓練のことを記載したのはどのような意図があるのか。</p> <p>○区 災害廃棄物処理計画を策定しており、実際の災害に備え総合防災訓練の中で災害廃棄物の訓練も行う予定だったが、新型コロナウイルスの影響で訓練が中止となった。今後の地域防災訓練の中で、災害廃棄物の訓練も合わせて行い、PRもしていきたいと考えている。実際に訓練をしてみて必要に応じて今後見直しを図っていきたい。</p> <p>○会長 災害対応は難しい。どのような規模で来るかも分からない。どのくらい具体的に考えているのか。</p> <p>○区 令和4年3月に災害廃棄物処理計画を策定し、住民向けにリーフレットを作成している。ポイントとなるのは災害ごみを一時的に保管するための臨時集積所の周知であり、リーフレットでは分かりやすく記載している。防災訓練もリーフレットの内容を知っていただく機会と考えている。</p> <p>○会長 災害の種類(大型台風や地震など)によって対応が全然違って来る。様々な想定が必要である。</p> <p>○委員 前回まで具体的になかった事業系ごみ対策について、今回は具体的に記載されており、大変良くなった。電池の回収についても具体的に記載され</p>

	<p>ている。家庭ごみ有料化についても目黒区がリードしていくと記載されているのが良いと思う。</p>
○委員	<p>少し話題が変わるが、最近ビーズクッションが流行っており、ごみ処理が大変だと聞く。現状を伺いたい。</p>
○区	<p>目黒区のルールでは粗大ごみ扱いとなるが、可燃ごみや不燃ごみに紛れて出されることがあり、カバーが破れ中身が散らばり、搬入した清掃工場の運営に支障が出たことがある。</p>
○会長	<p>製造者や販売者に何らかの責任を負ってもらいたい。かなり解決には長くかかる課題となりそうである。製品を作った人が最後の処理まで考えるのが一つの方法論である。処理困難物についてはもう少し明確に問題として捉えた方が良いと考える。</p>
○委員	<p>処理困難物という表現は分かりやすくて良い。</p>
○副会長	<p>意見が反映されて良くなった。やはり電池の処理は問題である。答申案にも記載があるように、ボタン型とコイン型の区別が困難である。製造者は回収を行っているが、消費者が対応しにくい仕組みとなっている。今回の答申案では、その点を強調して書かれているのが良い。やはり住区センター等の回収拠点に持っていくのが億劫なときもある。不燃ごみの日に電池を出している住民も多い。電池にSR、LR、CRというアルファベットが小さく書かれており、実は電池の種類が全て異なる。ボタン電池の中にも乾電池として扱ってよいものもある。リチウムイオン電池は大量に排出されており、かなり具体的に被害が出ているので、本来は国の問題とするべき内容と思われる。答申案の最後にあるように、目黒区がリードしていくという気持ちが伝わる内容となっている。</p>
○委員	<p>設置されている小型家電回収ボックスに対象外のものが入っていることもあるか。</p>
○区	<p>携帯電話など決められた9品目を入れるように案内しているが、それ以外家電が入っていることもある。そのような家電についても選別し、資源を売却するなど適切に処理をしている。</p>
○副会長	<p>小型家電の品目が決められているが、住民にはあまり区別がついていないと思われる。小型家電の中には価値の高い資源が含まれており、売却ができています。</p>
○区	<p>携帯電話などは貴重な金属が入っており、売却した業者が資源を取り出し再資源化している。</p>
○会長	<p>ある程度意見が出たようなので、答申案について会長一任で良いか承認いただきたい。</p>
	<p>(一同承認)</p>
○区	<p>少し時間に余裕があるので、委員からご意見のあった災害廃棄物処理について、リーフレットを配布し説明を行う。 (災害廃棄物処理リーフレットにより説明)</p>
○委員	<p>臨時集積所まで運べない人に対しては、区が収集に行けるのか。臨時集積</p>

	<p>所を広い場所に設置できない場合等、時間差で品目を特定して収集することも考えられるのではないか。実際に災害が起きたときに区民がごみを出し、収集できるかを考えてほしい。</p>
○区	<p>災害の種類によって対応が異なる。首都直下型地震の場合は被害が区内全域になり、水害の場合は特定の地域に被害が出ることになる。ケースバイケースで被害が出ていない地域に臨時集積所を設置するなどの対応が必要になってくる。臨時集積所は主に公園等を想定しているが、時間差収集については今後の検討課題としたい。</p>
○会長	<p>災害時には車が使えないことも多い。どのようにごみを運ぶのか。</p>
○区	<p>水害など限定的な場合に関しては、収集車を出すことができると考える。地震等の大規模災害の場合は、被害の規模によって対応状況は変わってくるが、できる限り対応していきたい。</p>
○区	<p>災害廃棄物処理計画は計画ができれば終わりではなく、計画策定を出発点として、さらに準備を進める必要がある。都会には地方と違って広い場所がなく、軽トラック等を持っている住民も少ない。区ではトラック業界とも災害時協定を結んでいる。それを具体的に落とし込んで準備を進めていきたい。災害ごみについては家の前に排出すると、車両が通れず災害対応に支障をきたすおそれがある。生活ごみは今までと同じルールで出していただき、災害ごみについては清掃事務所からアナウンスするので、そのアナウンスに従う形で住民の皆様には協力をお願いしたい。事前にリーフレットを使い、住民へ清掃事務所からアナウンスがあるということを知り、災害発生時にどのように行動すればよいかお知らせをすることを考えている。</p>
○会長	<p>今日の意見を参考にさせていただきたい。</p>
	<p><報告事項></p> <p>(2) 廃棄物処理定数料の改定について</p>
○区	<p>(資料3により説明)</p>
○委員	<p>現在、持っている処理券の10月以降の対応について伺いたい。</p>
○区	<p>お手持ちの処理券については、還付対応する。</p>
○委員	<p>今後は4年に1度の改定というサイクルを見直したほうが良いのではないか。これまでは物価の大きな変動がなかったので4年に1度の改定でも影響がなかったのかもしれないが、今回の改定では上昇率が14%~15%となっており、影響が大きいと考える。社会情勢を見て、手数料は段階的に上げたほうが良い。</p>
○区	<p>4年に1度の改定は、特別区長会で決めているルールである。改定については社会情勢を考慮するとされているが、主管課長会や主管部長会でどのように議論されるかは今後の話となる。改定を2年見送ったことについての議論は23区の話合いがなされると思われる。</p>
○委員	<p>動物死体処理手数料について伺いたい。野良猫などが自分の敷地内で亡</p>

	<p>なくなった場合も、敷地の管理者が手数料を負担するのか。</p> <p>○区 過去には敷地の管理者に負担してもらっていたが、現在は区が処理手数料を負担している。区民は自分が飼っている動物の死体処理のみ手数料を支払っていただく。</p> <p>○委員 動物死体処理のプロセスを伺いたい。</p> <p>○区 清掃事務所が連絡を受け、清掃事務所の職員が引き取りに行く。冷蔵庫に保存し、週に一度委託業者が引き取りに来る。委託業者の方で火葬・埋葬を行うという流れである。</p> <p>○委員 焼却炉でごみと一緒に燃やすのかと思ったので、区の対応をお聞きして安心した。</p> <p>○委員 以前、清掃事務所に相談したことがあり、区の対応を聞いて感動した。ちゃんと手厚く葬っていることを皆さんにも知ってほしい。</p> <p>○区 ご自身で飼っているペットを専門業者に依頼して埋葬している方もいるが、高額なため区に依頼する人もいる。区が委託した業者が火葬・埋葬は行うが、骨を飼い主へ返却することはできないことをご承知いただきたい。</p> <p>○委員 東京都全体の動きとして、市部のように家庭ごみ有料化を実施する予定はあるのか。</p> <p>○区 現在のところ話が出ていない。市部では家庭ごみを有料ごみ袋で回収している。事業系ごみも家庭ごみとは違う色の有料ごみ袋を販売している所もある。今後どのようにしていくか検討していく。</p> <p>○副会長 区では製品プラスチックの回収を検討しているが、衣装ケースは今後プラスチック資源となるのか粗大ごみとなるか伺いたい。</p> <p>○区 製品プラスチックの資源回収は議論を進めている。環境省が基準を示しており、区もそれに準拠し実施予定である。現在、30 cm以上のものは粗大ごみ分類としている。市部に視察に行ったところ、一部の市では衣装ケースは単一素材でできており、とても良い資源としてリサイクルしている。区でも回収の手間などを考慮して考えていきたい。</p> <p>○副会長 衣装ケースは単一のプラスチック素材なのでリサイクル率が高い。ただし、大きいものは回収するのに手間がかかるので、有料で回収してからリサイクルに回すなどのピックアップ回収を考えていく必要がある。有料化すると家庭ごみは減る。粗大ごみ手数料も安すぎるように思う。住民にはごみを排出するのにお金がかかることを理解してもらうことが必要である。</p> <p>○委員 どのようなものが、リサイクル率がいいのか。</p> <p>○区 きれいな状態の単一のプラスチック素材の容器包装プラスチックはリサイクル率が良い。ペットボトルは非常に高いリサイクル率である。</p> <p>○副会長 スーパーで店頭回収している食品トレイは食品トレイのみを集めているので非常に良い。しっかりリサイクルされるスーパー等の拠点が決めているルールに従って正しく分別して出すことが大切である。場所によっては</p>
--	---

	<p>白色トレイと色柄トレイを分けて店頭回収している所もある。白色トレイは確実にトレイとしてリサイクルされる。色柄トレイはトレイとしてリサイクルされないにしても、ちゃんとリサイクルされている。想像がつくと思うが、プラスチックに限らず紙類も燃やすごみで出せば燃やされるだけだが、集団回収に出せば紙はリサイクルされる。自分がどのように行動するとリサイクルがうまくいくのか知ることが大事である。</p> <p>○委員 近所のスーパーでも店頭回収しているが、透明のトレイとそうでないトレイを分けて回収している。透明ではないトレイについて発泡スチロールのトレイかどうか判別する手段として、楊枝で刺せるものを回収対象として案内していると聞く。</p> <p>○副会長 そもそもプラスチック製のトレイを使わないようにしてほしいが、買ったものについてはしっかり分別することが大切である。</p> <p>○委員 もっと紙製容器を普及させる必要がある。リユース容器で提供するお店も出てきた。意識を変えていくことを目黒区でリードしてやってほしい。</p> <p>○委員 以前居住していた岐阜県多治見市は大変細かく分別で出していたが、地域の当番が必要であり、都会では難しいと考える。普段の生活で、シールや金具がついているもの等、リサイクルできるのか燃やせるごみなのかの判別が難しいものがある。正しい分別についての周知を時々してほしい。</p> <p>○副会長 スーパーでは容器や包装にシールを貼ってしまうので、判断に迷うのはよく分かる。分別方法は一度だけでなく、時々周知するのは有効だと思う。</p> <p>○区 疑問があったときには清掃事務所や清掃リサイクル課で随時対応している。また、区報の連載記事「教えてゴミラス」では毎月身近な疑問にお答えしている。来年度は製品プラスチック回収も検討しているので、区報・SNSを活用して広報していきたい。プラスチック製の容器包装に多少シールが貼られていても、リサイクルは可能なのでプラスチック資源で出していきたい。</p> <p>3 閉 会</p> <p style="text-align: center;">以 上</p>
--	---